

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会
 2024 年度 実行計画(案)

基本方針	
財政局 局長 野村 衛	
局の目指す未来	茨城ブロック協議会の財政及びコンプライアンスが適正に運営され、明るい豊かな社会の実現に向けて費用対効果を最大限に発揮している状態。
局設置背景	茨城ブロック協議会の活動資金は、各 LOM からの信託に基づく会費から成り立っています。そのため、当該活動資金の適正な運用及び費用対効果の最大化を確保すること、及びこれらを担保するための体制を整える必要があります。
局設置目的	茨城ブロック協議会における財政の適正化を確保するとともに、最大限の費用対効果を発揮できるような支援体制を構築し、茨城ブロック協議会が、組織と財源を最大限活用する状態を築き上げ、持続可能な組織へと進化します。

① 予算書、決算書及び報告書の作成

背景	茨城ブロック協議会が年間を通じて効果的な運動を展開するために、各 LOM からの信託に基づく会費から成る予算につき、適正な編成を行うことが必要です。
目的	茨城ブロック協議会の運動が、適正かつ有効に実施されるとともに財政面で最大限の費用対効果が発揮されることを目的とします。
推進体制	連携パートナー:なし 参加対象者:茨城ブロック協議会の各会議・委員会
実施日	通年
施策の詳細	年間の予算書及び決算書を作成するとともに、各会議・委員会の財審様式チェックリストによる確認を行い、必要に応じて報告書を作成することで、茨城ブロック協議会の行う全運動の財政面及びコンプライアンス面における適正性、情報の透明性を確保します。

② 財政・コンプライアンス関係の管理及び公益審査会議の開催

背景	茨城ブロック協議会の運動が、財政面で最大限の費用対効果が発揮されるとともにコンプライアンス面において適正かつ有効に実施され、公益性の基準を満たすものであることが必要です。
目的	茨城ブロック協議会の運動が、財政コンプライアンス審査会議の運営によって適正かつ有効に実施されるとともに財政面で最大限の費用対効果が発揮されることを目的とします。
推進体制	連携パートナー:なし

	参加対象者:茨城ブロック協議会の各会議・委員会
実施日	通年
施策の詳細	各会議・委員会の予算及び決算審査、事業の費用対効果について定期的に審査を行い、財政面及びコンプライアンス面の適正化、透明化を図るとともに、事業の実施が確実になされるようにします。 また、茨城ブロック協議会が公益社団法人であることから要求される要件につきましても、公益審査会議において要件充足の有無を厳正に審査することで、公益社団法人としての適法性を確保します。

③ 予算折衝の実施

背景	茨城ブロック協議会の運動が、各会議・委員会の目指す未来を実現するため財政面で最大限の費用対効果が発揮されることが必要です。
目的	茨城ブロック協議会の運動が、年間を通じて適正かつ計画的に実施されるとともに財政面で最大限の費用対効果が発揮されることを目的とします。
推進体制	連携パートナー:なし 参加対象者:茨城ブロック協議会の各会議・委員会
実施日	通年
施策の詳細	各会議・委員会との間で予算申請用紙、予算折衝エビデンス資料に基づき綿密な予算折衝を実施し、財政面の適正化、透明化を実現します。

④ 各事業の財政面、コンプライアンス面の相談、支援

背景	茨城ブロック協議会及び各 LOM の運動が、各事業実現のため財政面、コンプライアンス面に懸念がなく実施されることが必要です。
目的	茨城ブロック協議会の運動が、年間を通じて各会議・委員会の理解のもと適正かつ効率的に実施されることを目的とします。
推進体制	連携パートナー:なし 参加対象者:茨城ブロック協議会の各会議・委員会、各 LOM
実施日	通年
施策の詳細	財政局内で担当窓口を設置したうえで各会議・委員会との間で平素から綿密に連絡を取り合い、また各 LOM からの窓口担当を設け、必要な相談、支援を行うことで、財政面及びコンプライアンス面の適正化、透明化を図るとともに、事業の実施が確実になされるようにします。

⑤ 本会計口座の管理

背景	茨城ブロック協議会の財政が適正に管理され、情報の透明性をもって運用することが必要です。
----	---

目的	茨城ブロック協議会の財政が適正に管理され、情報の透明性を確保することを目的とします。
推進体制	連携パートナー:なし 参加対象者:茨城ブロック協議会の各会議・委員会
実施日	通年
施策の詳細	財政局にて会計口座を管理し、茨城ブロック協議会の管理する財政面全般の適正性、情報の透明性を確保します。

⑥ 関東地区協議会との連携

背景	茨城ブロック協議会において関東地区協議会のスケールメリットを活かした広域のかつ効果的な運動展開をしていくことが必要です。
目的	茨城ブロック協議会において関東地区協議会と相互に連動した効果的な運動を目的とします。
推進体制	連携パートナー:日本青年会議所、関東地区協議会 参加対象者:茨城ブロック協議会の各会議・委員会
実施日	通年
施策の詳細	普段から関東地区協議会と連絡を取り合い、適宜情報交換等を行っていくことで、日本青年会議所及び関東地区協議会と相互に連動した効果的な運動を実現します。

⑦ 中間監査及び期末監査の実施

背景	茨城ブロック協議会の運動が適正かつ公正に実施されたか否かを検証することが必要です。
目的	茨城ブロック協議会の運動が適正かつ公正に実施されたか否かを検証することで、財政面及びコンプライアンスの適正性の確保を目的とします。
推進体制	連携パートナー:日本青年会議所 参加対象者:茨城ブロック協議会の各会議・委員会
実施日	通年
施策の詳細	各会議・委員会の行った事業について中間監査及び期末監査を実施することで、財政面及びコンプライアンスの適正性を確保します。

⑧ 外部資金導入の支援

背景	茨城ブロック協議会が最大限の運動展開を行うため、予算面に制限されることがない財源を確保することが必要です。
目的	茨城ブロック協議会が明るい豊かな社会の実現に向けた最大限の運動展開を

	することを目的とします。
推進体制	連携パートナー: 日本青年会議所、各種協力団体、茨城県民の皆様、クラウドファンディング運営会社 参加対象者: 茨城ブロック協議会の各会議・委員会、各 LOM
実施日	通年
施策の詳細	国及び県の補助金制度等に関する情報や協賛企業、クラウドファンディングなどに関する情報を各会議・委員会及び要望のある LOM と共有し、協力しながら積極的な外部資金の導入を促すことで、協議会の予算面に制限されることなく事業を実施することが可能な状況を創出します。